



広報

Nakagusuku



11月16日

なかくすく

No. 140

2006.9.20

URL <http://www.vill.nakagusuku.okinawa.jp>

多良川・サントリー(株)・オリオンビール(株)・
縄ペパ・バレッジ(株)・(株)琉仁カスタマーサ



めざせ金星!!

新入幕をはたした琉鵬関(本名:浦崎桂助、中城村出身、陸奥部屋)の激励会が8月25日に行われました
(4ページ関連記事)



▲ 当選者一人一人に当選証書が付与される。

中城村議会議員選挙

任期満了に伴う中城村議会議員選挙が9月10日に行われました。即日開票の結果、新人4人を含む16人（女性1人）の住民代表が決まりました。厳しい地方財政を背景に今回の選挙から定数が20人から16人と4人削減され、新人5人を含む18人による選挙戦が繰り広げられました。9月15日には、当選証書付与式が行われ、一人一人に当選証書が手渡されました。

住民の代表者決まる

 浜田京介 (43) 無・現2 会社役員 奥間902の2	 新垣善功 (57) 無・現5 無職 当間435の3	 新垣光栄 (43) 無・新 建設業 和宇慶96	 宮城治邦 (57) 無・現2 会社役員 久場486	 新垣健二 (56) 無・現3 無職 津覇529	
 知念政光 (63) 無・現3 農業 奥間704の5	 與那覇朝輝 (63) 無・新 無職 登又119	 仲真功浩 (58) 無・現2 無職 屋宜740の3	 安里ヨシ子 (65) 共産・現3 無職 泊119	 比嘉明典 (58) 無・現7 無職 伊舎堂9	
 宮城重夫 (60) 無・現4 農業 当間929	 喜舎場健司 (56) 無・現3 農業 新垣30	 仲座勇 (58) 無・新 自営業 南上原630の2	 新垣博正 (45) 無・新 会社役員 伊集273	 仲宗根哲 (57) 無・現2 無職 北浜178	 仲村春光 (60) 無・現4 無職 北上原952

土砂災害支援コンサートで被災者へエール



土砂災害の被災者へ元気をだしてもらおうと中城村長雨土砂災害支援コンサート（主催…かたいことぬきに中城で楽しむ会）が7月23日、吉の浦公園野球場で開催されました。

このコンサートは村内外から寄せられた多くの被災者支援の声を受け、阿部敏郎さんが実行委員長となって企画。ジョニー宜野湾さんや池田卓子さん、当真武三さん、惣領智子さんをはじめ、村内からは中城ポピュラーオーケストラ

や久場青年会、老人クラブ、KOBAYASHI HIROPIKOといった多くの出演者がコンサートを盛り上げました。

トリを務めた阿部敏郎さんがこの日のために作った「元氣だしていこう中城」を歌うと、会場を訪れた約2千人の観客から大きな拍手と歓声が沸き上がりました。

阿部さんは「被害を受けた方々へ何かできないかとの多くの声がひとつになり支援コンサートを開催できた。勇気と元気が伝われば嬉しい」と被災者へエールを送りました。

ファイナレは出演者全員がステージに上がり会場と一体となり盛り上がりました。

8月14日には、収益金が新垣村長へ手渡されました。

新垣村長は「コンサートは被災者へなにより励みになったと思う。全面復旧には時間を要するが、被災者が一日も早く精神的に安心して生活ができるように努めたい」とあいさつしました。

仮設住宅が完成。村道坂田線も迂回路で復旧の方針

中城小学校北上原分校の運動場に建設していた被災者用の仮設住宅が完成し、7月27日不自由な避難生活を余儀なくされてきた4世帯の方々が仮設住宅に入居しました。また、3世帯の方々は民間賃貸住宅で生活をスタートさせています。

これら、避難住民すべての仮設・賃貸住宅入居を受け沖縄県災害対策本部は、7月27日に本部を解散。村災害対策本部も被災者の生活確保が行われ、当分差し迫った危険性も低いと判断し7月31日に村災害対策本部を解散しました。

また、村道坂田線に関して、村と県が協議し、地滑り部分を避け村道沿いの3軒の民家敷地を通る形で道路を迂回させる方針を固めました。

崩落した県道35号については、元のルートで復旧工事が進められます。

今後、安全性が確認され次第、村道・県道の復旧工事が行われる予定です。



災害見舞金・義援金を交付しました

村は、現在もお避難生活を続けている北上原の10世帯に対し66万円を災害見舞金として交付しました。

また、義援金の一次配分として北上原地域被災者に対し290万円余り、一次避難をされた安里地区と北上原地区の63世帯の方々へ総額126万円を交付しました。



幕内昇進 おめでとう!!

入門14年目にして、大相撲秋場所で念願の新入幕を手にした琉鵬（本名・浦崎佳助、睦奥部屋）。8月25日、その琉鵬を励まそうと関係者やファンら約350名が参加して西原都パレスで激励会が盛大に開催されました。

琉鵬の中学当時の校長であった仲座盈助前村教育委員長は「中城の星、沖縄の星、日本の星を目指してほしい。横綱になる日を楽しみにしている」と激励。新垣村長も「厳しい相撲界で、ここまで来るのにいろいろな



苦労があったであろう。しかし、ひたむきに努力する姿は立派。これからの活躍が楽しみ」とあいさつしました。
会場に集まった大勢の前に琉鵬は「ひとつの目標であった幕内に上がる事ができたのは、暖かい応援のおかげ。相撲で自分の納得のいくまで頑張る」と力強くあいさつしました。
県出身では4人目、中城村では初の幕内力士として今後の活躍が期待されます。

中城中学校女子空手 九州大会で見事優勝



中城中学校の空手部と陸上部が、それぞれ県大会で優秀な成績をおさめ九州大会・全国大会へ出場しました。
8月30日、新垣村長へ結果報告を行いました。陸上部の砂川ももさんは「あまり良い結果を残すことはできなかったが、九州、全国大会に集

まった他都道府県の生徒から学ぶことが多かった」、また空手部の比嘉勇太くんは「緊張でチームがひとつになれない時もあったが、最後は全てを出し切ることができた。これまでに支えてくれた方々にお礼したい」と話しました。
九州大会において、女子個人形で見事優勝した仲村恵さん(3年)は「去年は練習に身が入らず、予選落ちだったのが、今年はコーチの指導のもと練習に励み優勝できた。今後はもっと上を目指したい」と意気込みを見せました。

あいさつしました。
比嘉コーチは5年連続優秀な成績をおさめた指導者として表彰されています。
新垣村長は「全国レベルの大会へ出ることで、技術面だけではなく、心を鍛えることができる。出発前と比べ、成長している姿が見えうれしい」と生徒らをねぎらいました。

新採用紹介

村教育委員会では、7月1日付けで職員の採用がありました。



新城 卓也
(生涯学習課)

皆さん、こんにちは。
7月1日付けで教育委員会生涯学習課に配属になりました新城卓也です。先輩方の指導・助言を受けながらいろいろなことを学び、地域のために貢献できるよう日々努力していきたいと思っております。よろしくお願います。

交流の輪広がる

千葉県旭市・福岡県福智町児童交流

千葉県旭市児童交流

7月26日から2日間、これまで中城村と千葉県飯岡町が行ってきた児童交流が、飯岡町の合併に伴い今年度から旭市との交流が行われました。

今回旭市からは、中央小、琴田小、千潟小の3校の児童20名が中城村を訪れました。旭市交流団長の米本教育長は「子ども



▲千葉県旭市児童交流（上）、福岡県福智町児童交流（下）

もたちにとってはかけがえない時間。この交流をきっかけに多くの友達をつくってほしい」とあいさつしました。

児童を代表して千潟小の三宅明璃さんは「交流をきっかけに、中城村の友達をたくさんつくって帰りたい」と3日間の交流に期待を膨らませていました。津覇小の新垣志帆さんは「沖縄の豊かな

自然、素晴らしい文化に触れ、楽しい思い出をたくさん持ち帰ってください」と歓迎しました。

歓迎会の翌日、一行は中城小で三線を体験し、友好の輪を広げました。

福岡県福智町児童交流

村子ども会が交流を行っていた福岡県方城町が今年3月に合併し、新しく誕生した福智町との児童交流が8月19日から行われました。一泊は村内に民泊しそれぞれの宿泊

先で交流を深めました。

村子連の新垣勇会長は「短い期間だが沖縄の衣食住を体験して帰ってください」と話ししました。

さい、伊佐教育長は「地域のひととのコミュニケーションは学校では学べないこと。民泊で良い経験をして下さい」とあいさつしました。

福智町子連の廣渡会長

は「3町が合併し、より多くの子どもたちが交流できる。今後も続けていきたい」と話ししました。

児童を代表して新垣早希さん(中城村)は「沖縄のことをたくさん学んで下さい」、辰島寛亮さん(福智町)は「友達をたくさんつくりたい」とあいさつしました。

思いやりの心を学びました!

平成18年度ボランティアスクール(主催:村社会福祉協議会)が7月28日、老人福祉センターで開かれました。中城小、津覇小から参加した29名の児童がボランティアについて学びました。

ワークショップでは、ゲームを通して譲り合いの心を学びました。その後、グリーンホームの入所者と一緒に風船パレーをし、交流をとおして、自分たちに何ができるのかを学びました。

また、8月3日には、中城村と北中城村の社会

福祉協議会による中高生を対象にしたボランティア講座が開講。

講座は二日間で、初日は車いすバスケットボールクラブ沖縄フェニックスのメンバーと車いすバスケットを行い、交流を図りました。中城中学校から参加した新田智美さんは「車いすバスケットは初めてで難しい。でもボランティアをとおしていろんな人に会えるのが楽しい」と話しました。

二日目は車いすの介助の仕方、地域のバリアフリーを確認しました。



長崎平和学習

平和とは何か…

戦争を知らない若い世代に戦争の愚かさ、平和の尊さを学ばせ、後世へ伝えていくことを目的として、中城村では伊佐真紀子さん（中城中3年）、酒本萌子さん（中城中3年）、狩俣有花さん（中城中2年）の3名を長崎で行われた青少年ピースフォーラムへ派遣しました。

この平和学習に参加した3名のレポートを紹介します。

▲被爆地・長崎の平和記念式典に参加した3名。伊佐真紀子さん(右)、狩俣有花さん(中央)、酒本萌子さん(左)

青少年ピースフォーラムに参加して

伊佐真紀子

長崎で私は原爆の恐ろしさと平和の尊さを「青少年ピースフォーラム」で深く考えることができました。原爆については、教科書でならったり、修学旅行で勉強したりしました。

私が参加した「青少年フォーラム」は、全国からたくさんの中小学生が参加して、いろいろな地方の人たちと交流することができました。

今の長崎はビルがたくさん建っていて、人も多く、この街に悲惨なことがあったということが信じられませんでした。被爆者の講話や平和案内人の原爆の話では、長崎の街では61年前、8月9日に焼け野原になり、たくさんの人たちが苦しみながら亡くなっていったと話していただきました。この話が本当にこの街で起きたのかと思いました。

しかし、原爆が落ちた広島や長崎では、放射線のせいでも今でも苦しんでいる人たちがいて、その被爆した人の子どもまでも白血病やガンなどの放射線が原因での病気で亡くなっているということが現在も起きていると

知りました。

沖縄戦のことは、小中学校で勉強してきたので、ある程度の知識はありますが、長崎で起こった原爆のことはあまり知りませんでした。日本で起こった戦争の出来事を知らなくては、本当の戦争を知ることができないと思いました。

平和というのは、日本だけでなく、平和を築くということではなく、世界に平和を築いていこうと発信しなければならぬことを改めて実感しました。そのためには、「まずは中城から始めなければいけない」と強く思いました。なので、これから長崎で学んだ原爆のこと、沖縄で起こった沖縄戦のことを含めて、中城の身近な人たちに伝えていこうと思えます。



平和への行動

酒本 萌子

8月8日から10日まで、長崎へ行き、青少年ピースフォーラムというものに参加してきました。

それは、全国各地から小中高校生が集まり、平和について考え、この長崎の地から全世界に向けて平和への願いを発信させていこうというものでした。

フォーラムではまず、被爆体験者である園久信さんのお話を聞き、その後平和案内人である調さんから、原爆についていろいろと教えてもらいました。その中で一番驚いたのが、今も世界にはたくさん核兵器が眠っているという事、そして、原子力発電所で電力を補っているこの日本も、それが爆発すれば大変な惨事になるということでした。

翌8月9日は「ながさき平和の日」で、61年前、原子爆弾が投下され、失われた大勢の命を慰め、そして平和の誓いを新たにすると、平和記念式典が行われました。

暑い日差しの中で、たくさんの鳩が大空へ優雅に飛び立ったとき、この長崎の平和の思いが強くなり、伝わった気がしました。

ここ沖縄も戦争とは関係が深

く、今までに何度も学習してきましたが、長崎から帰ってきてからは、改めてもっと多くのことを知りたいと思うようになりました。平和を祈るだけなら誰にでもできます。けれど、それより一歩進んだ「平和への行動」を自らおこなっていきたくと、そう思わせる体験でした。

最後に、長崎でお世話になったピースボランティアの皆さん、面倒を見てくれた引率の先生と役場の照屋さん、派遣してくださった村長さんを始め関係者の方々に感謝します。ありがとうございます。

平和について

狩俣 有花

今、私たちの住んでいる地球では、戦争という恐ろしくとても悲しいことが、どこかで毎日繰り返えされています。

戦争というのは、人の体を傷つけそして、心も傷つけるものだと私は思います。

私たちが日頃行う親子、兄弟、友達との『けんか』などは、一つの小さな戦争になるのではないのでしょうか。

最近では、親が子を殺す、子が親を殺す、友達が友達を殺す……このような事が多くなって、私には、何が安心できて、何が安全なのか分からなくなってきました。

8月8日から10日まで私は、長崎へ行き、平和学習をしました。

長崎は、原子爆弾が落とされ、多くの人が亡くなり、多くの人が悲しんだという話を聞きました。

私たちの住んでいる沖縄も、昔戦争がありました。小学生の時から、沖縄戦についていろいろ調べてきました。でも、まだまだ私たちに、知らないことがたくさんあります。それは、戦争の恐ろしさ、怖さ、痛み、そして悲しみです。実際に感じていないから。実際に見ていないからです。

戦争のことについて、祖父母に話を聞こうとすると、嫌な顔をしたり、いつも顔がひきつります。たぶん昔のことを話したくない、思い出したくないのだと思います。もう過ぎ去った戦争のことも本当は、忘れてしまいたいのだと思います。でも、戦争でつけた心の傷は消えることがないんだと思います。

沖縄の歌で戦争について語られている唄があります。「月桃の花」「ごとうきび畑」「島唄」他にもあ

ります。

沖縄の人は、昔から唄が大好きです。でも、なぜ、その大好きな唄に戦争のことを残したのでしようか。私は前から疑問に思っていました。最近それが分かったような気がします。

沖縄の人は、大好きな唄を犠牲にしてまで、今の人たちにこれから生まれてくる人たちに戦争を伝えたかったと思います。

「もうこんな残酷なことが起きないように、もう戦争で悲しむ人がいないように」と願っています。

実際に戦争の経験者が少なくなっている今だからこそ、この唄の本当の意味が分かってくるのではないのでしょうか。

人々が手を繋ぎ沖縄の基地を取り囲むのもきつと、自分たちの身の安全を考えてのことだと思いません。

長崎でもこれと似たようなことをしていました。

では、皆さん、平和とはいったいどこから来るものなのでしょう。平和とはいったい何なのでしょう。

平和は待つだけではダメなのです。平和は、自分で探すもの、平和とは、私たち人間が作っていくものだと、私は思います。



国民年金保険料の納付が困難な方

～若年者猶予制度・学生納付特例制度～

若年者納付猶予制度とは？

学生納付特例制度とは？

若年者納付猶予制度（20歳台で学生以外）と学生納付特例制度（学生）は、所得が少ないことで保険料を納付できず、将来の年金が受け取ることができなくなること、不慮の事故等により障害が残ってしまった場合の障害基礎年金を受けることができなくなることを防ぐため、申請により**保険料の納付が猶予される制度**のことです。

POINT 1

- ・若年者 → 本人と配偶者の所得を審査
- ・学生 → 本人の所得のみで審査

一般の保険料免除（全額免除・一部納付）の場合は、世帯主の所得も含めて保険料免除となるか判定いたしますが、若年者納付猶予は本人と配偶者の所得のみ、学生納付特例は本人の所得のみで判定することになります。

そのため、世帯主の所得が高く、保険料免除の対象とならない20歳台の方でも、若年者納付猶予の対象となる場合があります、学生の方はご本人の所得がない場合は学生納付特例の対象となります。

※学生の方は、学生納付特例制度のみご利用いただけます。

POINT 2

- ・障害・遺族基礎年金を受け取ることができます

納付猶予や納付特例期間中にケガや病気で障害や死亡といった不慮の事態が発生した場合、障害の状態に応じて障害基礎年金が、遺族（妻と子）の方は遺族基礎年金を受けることができます。

※障害や死亡といった事故が発生するまでの国民年金の加入期間の2/3以上の期間について、保険料を納付、免除又は猶予されていること、若しくは事故の直前の1年間に保険料の未納がないことが必要です。

若年者納付猶予制度とは？

- 若年者納付猶予・学生納付特例を受けた期間は、将来受ける年金の受給資格期間に算入されますが、年金額には反映されません。
- そこで、これらの期間の保険料は、10年以内であれば後で古い期間から順に納付していただけるようになっています（追納）。
- 追納する場合の保険料額は、猶予等を受けた年度から起算して、3年度目以降に保険料を追納する場合には、承認を受けた期間の保険料額に経過期間に応じた加算額が上乗せされます。

国民年金の免除期間及び申請受付期間

若年者納付猶予

年 度	免除期間	受付終了
平成16年度	平成17年4月～平成17年6月	平成18年10月末
平成17年度	平成17年7月～平成18年6月	平成18年10月末
平成18年度	平成18年7月～平成19年6月	平成19年7月末

学生納付特例

年 度	免除期間	受付終了
平成17年度	平成17年4月～平成18年3月	平成18年10月末
平成18年度	平成18年4月～平成19年3月	平成19年4月末

中城村役場 福祉保険課 年金係 895-2131(254)

誕生日が来たときは現況届の提出を

国民年金を受給している方は、毎年の誕生日の月に現況届を提出して下さい。現況届は、一年に一回、誕生月に出していただくもので、あなたが引き続き年金を受ける権利があるかどうかを確認するための大事な届出です。

現況届は誕生日の月の初め頃に社会保険業務センターから送られてきます。あなたの住所、氏名、加給年金対象者の氏名などを記入し、切手を貼って誕生月の末までに社会保険業務センターに届くようにお出してください。

なお、ご自分では記入することができないため、親族などの方が記入されるときは、受給権者の欄や加給年金額対象者の欄を漏れなく記入のうえ、「代理人署名欄」に代筆者の氏名、住所などを必ず記入してください。現況届の提出が遅れたり、提出されなかつたときには、年金の支払いが一時止まることもありますのでご注意ください。年金の支払いが一時止まった場合は、現況届が社会保険業務センターに届いてから随時、止まった期間分を遡ってお支払いいたしますが、支払いまで1~2ヵ月程度かかります。

*二十歳前の障害による障害基礎年金を受給している方は、誕生月ではなく、毎年、指定された期限までに住所地の市区町村に提出していただくこととなっています。

*受けている年金の種類などによって、医師または歯科医師の診断書やレントゲンフィルム等が必要な場合があります。

現況届についてのお問い合わせは、

コザ社会保険事務所 933-3439

平成19年度 小学校入学・村立幼稚園入園予定者 就学相談のご案内

お子さんのすこやかな成長を
願って保護者の相談を行います

- ①このようなお子さんについて
 - ものを見るとときに近づきすぎる
 - 後ろから呼びかけても振り向かない
 - 手足の動かし方がぎこちない
 - 発音や話し方がはっきりしない
 - 落ち着きがなく、ひとつのことに集中しない
 - 指示や内容が理解できない
 - その他のことで気になることがある
 - ②病気又は心身に障害があるため、村内の学校に通学が困難と思われる
- 〒901-2407
中城村字安里190番地
(中城村民体育館内)
中城村教育委員会 教育総務課
学校教育係 895 (3276)



世界のウチナンチュ大会 中城人交流会について

中城村では歓迎交流会を下記の日程で開催します。

第4回世界のウチナンチュ大会に参加する中城村関係者に関する情報をお寄せください。

日時：10月16日(月)

午後6時から

場所：吉の浦会館

※午後2時から中城村内を案内します。

【お問い合わせ】

中城村役場企画課

電話 895-2131



募 集

コールセンター入門講座in 浦添市 受講生募集

県内在住45歳くらいまでの求職中の方で、コールセンターへの就職を希望する方へ、コミュニケーションの基本やパソコン基本操作などの講座を開講します。

日程：10月5日～20日

※平日のみ。

時間：10:00～16:00

締切：9月28日 16時まで

申込：申込み用紙に記入後、(http://www.empact.or.jp でダウンロードできます) (財)雇用開発推進機構までFAX。

【お問い合わせ先】

(財)雇用開発推進機構

電話 859-7366

FAX 859-6220

子どもたちに見せたくない有害サイトを ブロックするサービスをご存じですか？

携帯電話を子どもに持たせることで、親は緊急時に連絡を取ったり連絡を受けたり、所在を確認したり、どこにいても連絡が取れるという安心感が得られます。

しかしながら一方で親の目の届かないところで、子どもたちが携帯インターネット上に存在する有害情報サイトにアクセスできてしまうという危険性も持ち合わせています。

携帯インターネット上の有害サイトへのアクセスをブロックするため、携帯電話会社は各種のアクセス制限サービス(以下、「有害サイトアクセス制限サービス」といいます)を無料で提供しています。

詳しくは、携帯電話のお店か右記にお問い合わせ下さい。

◎NTTドコモ

- ・携帯電話から157
- ・一般電話から
0120-800-000

◎KDDI

- ・携帯電話から157 (au)
157 (ツーカー)
- ・一般電話から
0077-7-111 (au)
0077-789-151
(ツーカー東京)

◎ボーダフォン

- ・携帯電話から157
- ・一般電話から
0088-21-2000

村県民税の納期です!!

11月30日は村県民税第3期分の納期となっています。なお、第1期、第2期分をまだ納めていない場合は、合わせて納めていただきますようお願い致します。

【お問い合わせ】

中城村税務課 電話 895-2131 (241・242)

税目 期別	村県民税	固定資産税	軽自動車税
第1期	6月30日	5月31日	5月31日
第2期	10月2日	7月31日	
第3期	11月30日	12月25日	
第4期	1月31日	2月28日	

案内・お知らせ

お知らせ

中南部都市圏 パーソントリップ調査協力

沖縄県では、国土交通省、沖縄総合事務局、中城村をはじめとした本島中南部8市6町3村と協力して、将来の総合的な都市交通計画の策定に役立てるため、交通実施調査を行います。

この調査は、皆様が日頃の生活の中で、モノレール、バス、自動車等の交通手段をどのように利用されているかなど、「人の一日の動き」について調査するものです。

◎調査対象

村内から無作為に選んだ約700世帯（対象となった世帯には、事前にハガキで連絡します）

◎調査内容

平日のある一日に、「どんな目的でどこに移動したか」など

◎調査方法

10月～11月頃に調査員が対象となった世帯を訪問して調査票へのご記入をお願いし、後日調査員が回収に伺います。

【お問い合わせ】

沖縄県都市計画・モノレール課

電話 866-2408

中城村役場 都市計画課

電話 895-2131

行政相談所を開設

中城村では、下記の日程で行政相談所を開設し、村民の皆さんからの苦情や要望を聞きながらサービスの改善を進めます。

【このような場合には相談を】

◎説明に納得がいかない

◎どこに言えばよいか分からない

◎このようにしてほしい

行政相談員桃原廣一さんが相談に応じます。

とき：10月16日～20日

時間：10時～16時

場所：老人福祉センター

電話：895-5661

中部トリムマラソン大会

期日：平成18年11月12日
雨天決行

場所：沖縄県総合運動公園
陸上競技場

種目：20km、10km、
5km、3km、2km

申込：沖縄県総合運動公園
陸上競技場

各郵便局窓口、インターネット
(<http://www.runtes.ne.jp>)からも申込みできます。

沖縄マラソンジョギング 教室(初心・中級)

開催日：10月16日～11月16日
月曜と木曜の週2回
※祝日は除く

時間：午後7時～9時

参加料：2,000円

対象：16歳以上

定員：30人

場所：沖縄市コザ運動公園

【お問い合わせ】

沖縄マラソン実行委員会

電話 930-0088

補助事業による造林 緑化をしませんか？

中南部の森林は、去る大戦で殆どの森林が消滅し、甚大な被害を被ったが、戦後、県民の根強い緑化運動の展開及び造林事業等により、森林は漸次回復しているものの依然として荒廃原野等が多く存在しております。

「県民の安らぎと潤いのある生活を享受できる美しい県土づくり」、「災害に強い県土づくり」を推進するためには、荒廃原野等への早期の造林、緑化を行い、健全で魅力ある森林・緑地を形

成する必要があります。

森林所有者（地権者）の皆様にはこの様な状況にご理解頂き、造林事業補助制度を活用した造林・緑化をお願い致します。

要件：500m²以上

対象地：地域森林計画対象民有林
植栽樹種

サクラ、センダン、ヤマモモ、
イヌマキ、その他数種（適地
適木等を基準に決定）

補助率：70%～90%

【お問い合わせ】

沖縄県南部林業事業所

電話 889-1270

一定規模の土地取引に は届出が必要です！

一定規模の土地取引を行った際には、契約締結日を含めて2週間以内にその土地の所在する市町村に届出をする必要があります。

【届出が必要な土地の面積】

市街化区域・・・2,000m²

市街化区域以外の都市計画区域
5,000m²

都市計画区域外・・・10,000m²

【お問い合わせ】

中城村役場企画課

電話 895-2131

沖縄県土地対策課

電話 866-2040

ホームページ [http://www.pref.](http://www.pref.okinawa.jp/tochi/todokede/todokede.html)

[okinawa.jp/tochi/todokede/todokede.html](http://www.pref.okinawa.jp/tochi/todokede/todokede.html)

困っている場合は ここに電話を！

警察では、各種の相談窓口を設け、被害者からのさまざまな相談に応じています。

警察安全相談

#9110（全国共通）

又は863-9110

（警察本部警察安全相談）

898-0110

（宜野湾警察署）

1 8月10日 日 大安		1 9月11日 水 先勝	
2 8月11日 月 赤口		2 9月12日 木 友引	
3 8月12日 火 先勝		3 9月13日 金 先負	文化の日
4 8月13日 水 友引		4 9月14日 土 仏滅	村慰霊祭 (老人センター)
5 8月14日 木 先負		5 9月15日 日 大安	
6 8月15日 金 仏滅		6 9月16日 月 赤口	
7 8月16日 土 大安	乳児一般健診 (吉の浦会館)	7 9月17日 火 先勝	南上原ふれあい事業
8 8月17日 日 赤口	親子スポーツ大会(村子連)	8 9月18日 水 友引	当間ふれあい事業
9 8月18日 月 先勝	体育の日	9 9月19日 木 先負	1歳6ヶ月児健診 (吉の浦会館)
10 8月19日 火 友引	南上原ふれあい事業	10 9月20日 金 仏滅	ポリオ予防接種 (吉の浦会館)
11 8月20日 水 先負	当間ふれあい事業	11 9月21日 土 大安	
12 8月21日 木 仏滅	3歳児健診 (吉の浦会館)	12 9月22日 日 赤口	
13 8月22日 金 大安		13 9月23日 月 先勝	
14 8月23日 土 赤口		14 9月24日 火 友引	離乳食実習 (吉の浦会館)
15 8月24日 日 先勝		15 9月25日 水 先負	浜ふれあい事業
16 8月25日 月 友引	世界のウチナンチュー大会、中城人交流会	16 9月26日 木 仏滅	
17 8月26日 火 先負		17 9月27日 金 大安	奥間ふれあい事業 願寿者交流会
18 8月27日 水 仏滅		18 9月28日 土 赤口	
19 8月28日 木 大安	歯科検診 (吉の浦会館)	19 9月29日 日 先勝	
20 8月29日 金 赤口	奥間ふれあい事業	20 9月30日 月 友引	
21 8月30日 土 先勝		21 10月1日 火 仏滅	伊舎堂ふれあい事業
22 9月1日 日 先負		22 10月2日 水 大安	
23 9月2日 月 仏滅		23 10月3日 木 赤口	勤労感謝の日
24 9月3日 火 大安	北上原ふれあい事業	24 10月4日 金 先勝	
25 9月4日 水 赤口		25 10月5日 土 友引	
26 9月5日 木 先勝	伊舎堂ふれあい事業	26 10月6日 日 先負	
27 9月6日 金 友引	村童話・意見発表会	27 10月7日 月 仏滅	
28 9月7日 土 先負		28 10月8日 火 大安	北上原ふれあい事業
29 9月8日 日 仏滅	芸能の集い (婦人会)	29 10月9日 水 赤口	
30 9月9日 月 大安		30 10月10日 木 先勝	
31 9月10日 火 赤口	BCG予防接種 (吉の浦会館)		

行事日程は、変更することがありますので、あらかじめ確認してお出かけください。

中城村の人口 平成18年8月末現在

人口	16,292 (+51)
男	8,312 (+12)
女	7,980 (+39)
世帯数	5,764 (+27)

※ ()内は前月との比較

テレビの映りでお困りではありませんか？

10月は、「受信環境クリーン月間」です。
テレビ、ラジオ放送の受信障害でお困りの方は「沖縄受信環境クリーン協議会」または「放送局」へご相談ください。

沖縄受信環境クリーン協議会
電話 865-2307

寄付がありました
大相撲秋場所で新入幕をは
たした琉鵬関より、青少年
育成に役立ててほしいと村
へ寄付がありました。
ありがとうございました。

各地区の行事満載



浜自治会

浜自治会は8月13日、浜漁港内で第1回夏祭りを開催しました。

マグロの解体ショーやカニ網からカニを外す作業の体験など、海を生かしたイベントが企画されました。宅地造成で区の人口も増えたことから新しい住民との交流も図り、大人も子どもも一緒になって楽しみました。

カニ網はずし体験をした太田まさゆきくん(2年)は「生きたカニは怖かったけど楽しかった」と話しました。昼食にはカニそばが振る舞われ、参加者からは大好評でした。

南上原区民夏祭りが8月19日、公民館前広場で行われました。子ども会のエイサーや民謡ショー、南太鼓の迫力ある演舞の他、区民全員が参加しての綱引きなどで盛りあがりました。

また、琉球大学に通う留学生によるインドネシアの民族ダンスもあり、異文化交流も行われました。

会長の富島さんは「区画整理事業で人口が急激に増えているが、自治会加入者が少ない。これを機会に加入を増やしたい」とあいさつしました。



南上原自治会



屋宜自治会

8月26日、屋宜自治会納涼夏祭り、新入学児童激励会が屋宜公民館で行われました。

夏休み最後の土曜日とあって、浴衣姿の子どもを初め、大人もお年寄りも区民総出で祭りを楽しんでいました。

会場では、島袋賀政さん(アイスピープル友の会幹事)による氷彫刻実演もありました。

子どもたちは、四角い氷から何ができるのだろうと、島袋さんの手つきに興味津々。犬とわしをかたどった氷の彫刻が完成すると子どもたちから大きな歓声が上がりました。

H18年度村体協中間結果報告

軟式野球・卓球男子が
中頭体協で優勝!

村体協では、6月4日の壮年ソフトボール大会を皮切りに8月末までに8種目が開催されました。その結果を報告します。

また、中頭地区大会でも軟式野球と卓球男子が優勝するなど素晴らしい成績をおさめています。

	バスケ男	バスケ女	バレー男	バレー女	卓球	ソフトテニス	サッカー	軟式テニス	ソフトボール一般	ソフトボール壮年	バドミントン男	バドミントン女	ボウリング	合計
1位	伊集	伊集	団地	登又	屋宜	南上原	和宇慶	屋宜	久場	和宇慶	登又	屋宜	奥間	屋宜(87)
2位	屋宜	泊	和宇慶	伊集	久場	久場	北浜	久場	屋宜	南上原	屋宜	南上原	南上原	久場(73)
3位	北浜	屋宜	北浜	和宇慶	和宇慶	登又	安里		和宇慶	北浜	和宇慶	久場	屋宜	和宇慶(68)
	泊	第二団地	屋宜	久場	泊		久場		伊舎堂	登又	南上原	登又		



▲ F C琉球サッカー教室で一生懸命練習する子どもたち

むらの話題

Topics

7月23日 8月18日 プロの技を伝授。サッカーとバスケ教室

F C琉球の選手らが県内各地に出向き、サッカーを通して子どもたちとふれあうサッカー教室が7月23日、吉の浦運動公園で開催されました。

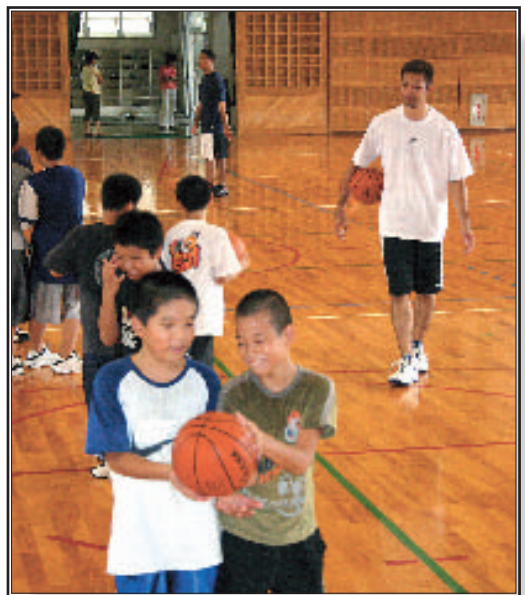
この日は、児童ら約60名が参加し、ドリブルやリフティング、強弱をつけたパス、周囲に注意しながらプレーする練習をこなしました。比嘉星羅さん(中小6年)は「いつもとは違う練習メニューにワクワクしている。もっと練習して上手になりたい」と話しました。

また、8月18日は元全日本代表のバスケットボール選手仲村直人(和宇慶出身)さんが、津覇小学校を訪れ子どもたちにバスケの基本を指導しました。

仲村選手は、現在津覇小でミニバスケを教えている新垣裕一コーチの後輩にあたることから今回の教室が実現。

バスケ部の西波照間葵さん(5年)は「プロの技をじかに教えてもらい勉強になりました」と話しました。

仲村選手は「津覇小は自分にとっての原点。何ごとも基本が大切であり基本を指導したい」と一生懸命教えていました。



▲仲村選手から基本を教わる子どもたち



7月18日、村学対家庭地域部会は子育て講演会を吉の浦会館で開催しました。講師に沖縄市民小劇場あしびなー館長である玉城満さんを迎え、「玉城流子育て」について講演がありました。

玉城さんの次男が子どもの頃、緊張から大舞台でエイサーを演じることができなかつた時、「恥ずかしがる踊りをしたんだね」と誉めたエピソードを披露。非行にはしる子どもものほとんどが誉められた経験がないと話しました。

玉城さんは「怒ることはできても、誉めることは難しい。誉めることからその子のもつ可能性を引き出すことができる」と話しました。

7月18日

子育てについて

沖縄市民小劇場あしびなー館長
玉城満さんが講演

7月29日

東京混声合唱団の素晴らしい歌声を鑑賞

平成18年度の「本物の舞台芸術体験事業」が7月29日開催されました。これは、次代を担う青少年に優れた芸術を鑑賞することで心豊かに、健やかに成長してもらおうと文化庁、村教育委員会が主催したものです。

会場となった吉の浦会館には、東京混声合唱団（指揮：大谷研二）による素晴らしい歌声を鑑賞しようと大勢の村民が詰めかけました。

合唱の合間には、中城中学生が合唱団と一緒に「時の旅人」を歌った他、第2部は合唱団と関一郎さんによる尺八のコラボレーションもありました。合唱団と尺八が会場を練り歩きながら歌う演出もあり、会場全体が大きなステージになるという一体感がありました。



8月31日

よんぱくそ中城村へ 南米から3名の研修生

平成8年からスタートした海外移住者子弟研修生受入事業の第11期生として、稲嶺ミリアン・マサミさん（ブラジル）、安里アグスティン・オルランドさん（アルゼンチン）、屋宜出身）、新垣ナオミさん（ペルー）、津覇出身）の3名が3ヶ月間、祖父母、両親の古里沖縄で研修を行います。

3名は、日本語の他、沖縄の文化を学び南米との架け橋になることが期待されます。

8月31日に村役場を訪れた研修生に新垣村長は「心から歓迎します。自分のルーツである沖縄を感じて下さい」と激励しました。

3名を代表して新垣ナオミさんは「日本語や沖縄の文化をいろいろと学んでいきたい」とあいさつしました。



▲右から安里アグスティン（アルゼンチン）、新垣ナオミ（ペルー）、稲嶺マサミ（ブラジル）

7月28日

ターゲットバードゴルフ大会

7月28日、ターゲットバードゴルフ大会（主催：村老人クラブ）が吉の浦公園で行われました。炎天下の中、約60名の会員がゲームを楽しみました。

このゲームは、普通のゴルフクラブでバドミントンの羽を打つミニゴルフです。ボールを遠くへ飛ばすのに技術を要し、参加者らは悪戦苦闘していました。

ゲームに参加するのはこれで2度目という登又の新屋さんは「慣れてくると楽しい。夢中になって暑さもふっとぶ」と快調なスイングでボールを飛ばしていました。

結果は次のとおり。

【団体の部】 1位：登又、2位：北上原、3位：伊集

【個人の部】 1位：新垣親栄（伊集）、2位：米須清忠（登又）
3位：喜屋武勲（当間）



お年寄りと子どもものふれあい



世代を越えた交流を図ろうと8月18日、子どもと老人のふれあいの集いが老人福祉センターで行われ、150名が参加しました。ペットボトルのふたでお守りを作ったり、スカットボール、わなげなどお年寄りと子どもたちが楽しくふれあいました。津霸小から参加した比嘉あかねさんは「おじいちゃんからコツを教えてもらい輪投げが上手になった」と喜んでいました。昼食には民生委員が心を込めてつくった沖繩そばやかき氷もあり子どもたちは大喜びでした。

老人クラブ輪投げ大会



8月23日、老人クラブ輪投げ大会が吉の浦会館で行われ、各支部とも真剣勝負が繰り広げられました。160名余りの会員が参加し会場は熱気で包まれていました。結果は次のとおりです
 【団体】1位：新垣、2位：北上原、3位：登又
 【個人】1位：伊佐善市(新垣)、2位：知名サダ子(安里)、3位：比嘉哲夫(屋宜)

子ども英会話教室

夏休み期間中である8月8日から4日間、吉の浦会館で英会話教室が開催されました。講師は、今年から小学校でALTとして英語の指導にあたるイワディンガーター先生と、中学校で指導しているヤセミンチャクマク先生。クイズやゲームを交えての授業で楽しんだ子どもたちは楽しんでながら英語を学んでいました。



福祉施設を訪れ情報交換



村民生委員と児童員らは8月25日、知的障害者更生施設グリーンホームを訪れました。施設の視察研修の他、意見情報交換を行いました。グリーンホーム施設長の伊佐善次さんは「お互いの事業を知ることにより良い福祉サービスが行える」、民生員の伊佐善彦さんは「今後の活動に活かせる情報が得られた。次は別の施設も訪問し勉強したい」と話しました。その他、施設入所者との交流会もあり、民謡ショーなどで盛りあがりました。

自分の主張を発表

中城村青少年育成村民会議主催の少年の主張大会が7月18日行われました。中城中学校各学年から選ばれた9名が平和について、友人についてなど様々なテーマで意見を発表しました。最優秀賞に輝いた呉屋江利子さん(3年)は「自律神経系の病気を克服し、マイナス思考からプラス思考へ意識を変えることで、輝く明日を手に入れることができた」と述べ、前向きに楽しく生きて行こうと意見を述べました。どの発表者も素晴らしい意見を述べていました。

